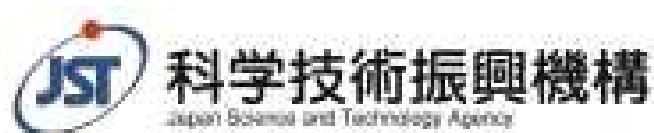


**研究成果展開事業
研究成果最適展開支援プログラム
(A-STEP)**

産学連携展開部



COI STREAMの全体スケジュール

平成25年4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 平成26年4月

アイデア募集～拠点イメージ決定

COI拠点の提案募集～拠点構成の決定

COIプログラム

シーズ・ニーズ事業

AISTEP

3/29～4/19

ビジョン実現のための
アイデア募集

ビジョナリー
チーム等が
提案を参考に
しつつ拠点
設計を検討

拠点イメージの決定

6月中旬～8月中旬頃

COI拠点の提案募集

ビジョナリー
チーム等が
提案を
踏まえつつ、
拠点構成を
検討

COI拠点
構成の検討

COI拠点の
構成計画策定

拠点への
支援開始

拠点の
構築・運営

拠点の
構築・運営

イノベーション対話ツールの開発
(協力大学等によるツールの試行的運用)

COI拠点におけるイノベーション
のための対話の
促進

3/29～5/17

FS
ステージ
公募

申請情報(ビジョン実現
への貢献等)を提供

審査

8月

FS
ステージ
支援開始

COI拠点と一体的に推進す
べきと思われる課題はCOI
拠点構成の検討対象に

当面A-STEPIによる推進が適当と
思われる提案を抽出して提供

6/11～7/31

本格
ステージ
公募

審査

FS
ステージ

本格
ステージ
支援開始

10月以降

COI拠点と一体的に推進
すべきと思われる課題は
COI拠点へ随時移行

(今回)

A-STEPとCOI STREAM の連携(1)

1. 公募対象となる研究分野を革新的イノベーション創出プログラム(COI STREAM)の**3つのビジョン**に沿って設定します。

【ビジョン】

- 少子高齢化先進国としての持続性確保: Smart Life Care、Ageless Society
- 豊かな生活環境の構築(繁栄し、尊敬される国へ): Smart Japan
- 活気ある持続可能な(Active Sustainability)社会の構築

2. 各ビジョンに基づき設定された拠点イメージ(ソリューションの例、構成要素、概要)を参考として示しつつ、**ビジョン実現**に資する研究開発課題を募集します。
3. 申請する研究開発課題が、ビジョンにおいて、「**どういう役割で何を解決することが期待されるか、あるいは何に貢献できることが期待されるか**」を記載いただきます。
4. 審査の観点の一つに、「**研究成果が応用展開された際に、いずれかのビジョンの実現につながり、社会還元に導かれる事が期待できること**」を設定します。

A-STEPとCOI STREAM の連携(2)

- A-STEPの4つのステージのうち、【起業挑戦】ステージ、【産学共同促進】ステージ(ステージII)、【実用化挑戦】ステージ(ステージII)では、COI STREAMの拠点イメージを参考として示しつつ、**ビジョンに沿った研究分野**を対象に公募を行います。

- 各ステージでの採択課題が決定した後、JSTはプログラムオフィサー(PO)等を核とした支援体制を構築し、研究開発の進捗状況等について必要な調査や評価等を実施します。その結果、COI STREAMとの連携やCOI STREAMで推進するテーマへの貢献が特に期待できると評価される課題に対しては、**A-STEP各ステージからCOI拠点への移行**をお願いする場合があります。全ての採択課題に移行の可能性があり、COI拠点決定後(10月以降を予定)に移行候補となる課題を決定します。

移行に際しては、研究期間延長やその際の研究費追加、及びJSTによるCOI拠点とのマッチング等を行うことで、COI拠点との連携を促します。また、COI拠点決定時点では対象とならなかった課題に関しても、その後の研究開発の進捗状況によってCOI拠点の一部として移行対象となる事があります。

A-STEPとCOI STREAM の連携(3)

- COIプログラムの審査の結果、COI 拠点として支援していくより、A-STEPで推進することが適当とされた提案については、JSTが当該提案についての情報提供を受け、A-STEPの評価委員会に諮ります。その上で、同評価委員会においてA-STEPで採択することが適当と判断されれば、A-STEPの適切なタイプで採択を行います。

<申請書の取扱>

COIプログラムでビジョナリーチームによる拠点構成の検討等を行う際の参考として、**申請情報(ビジョン実現への貢献等)を拠点設計や拠点構成の検討等を行うビジョナリーチームに提供します**ので、あらかじめご了承ください。

研究成果最適展開支援プログラムA-STEPの目的・特徴

大学と企業のマッチングの段階から企業との本格的な共同研究開発に至るまで、課題ごとの「研究開発段階」や「開発リスク」に合わせた最適なファンディング計画を設定し、大学等の研究成果を実用化につなぐための産学共同研究に対する総合的な支援を実施。

✓ 研究開発フェーズのどの段階からでも申請可能

4ステージの公募窓口を一本化
課題の内容に適したタイプを選択して申請

✓ 異なるタイプの支援をシームレスに実施可能

複数の支援タイプを組み合わせて、長期の研究開発が実施可能
※但し、異なる支援タイプに移行する際は支援継続の是非を判断する評価を実施

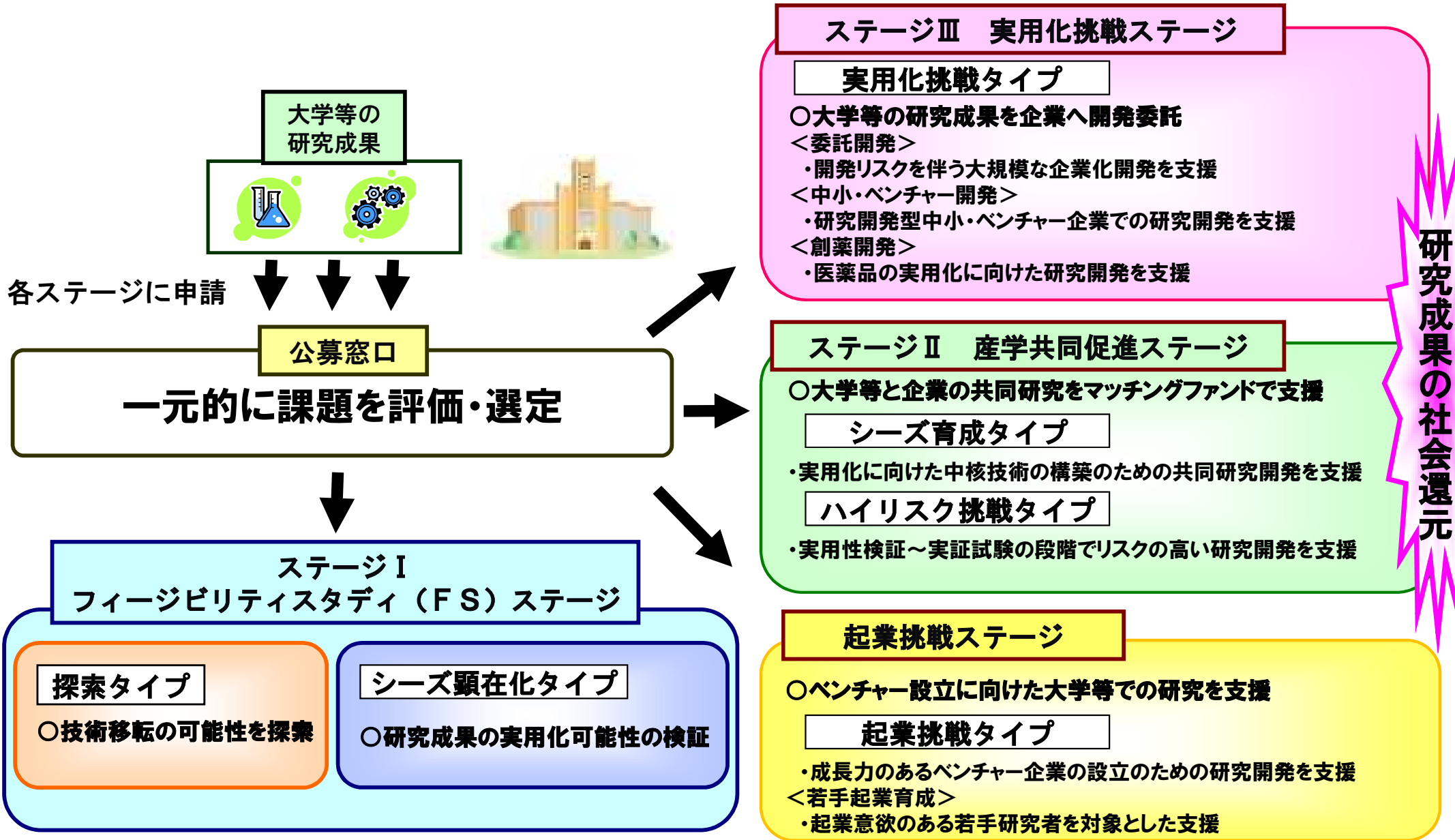
✓ 研究開発の効率性アップのため研究開発計画のアドバイス

効果的・効率的な研究開発実施のため外部有識者・JSTによる研究計画の最適化を図ります

A-STEPの意味

Adaptable and Seamless Technology Transfer Program through Target-driven R&D

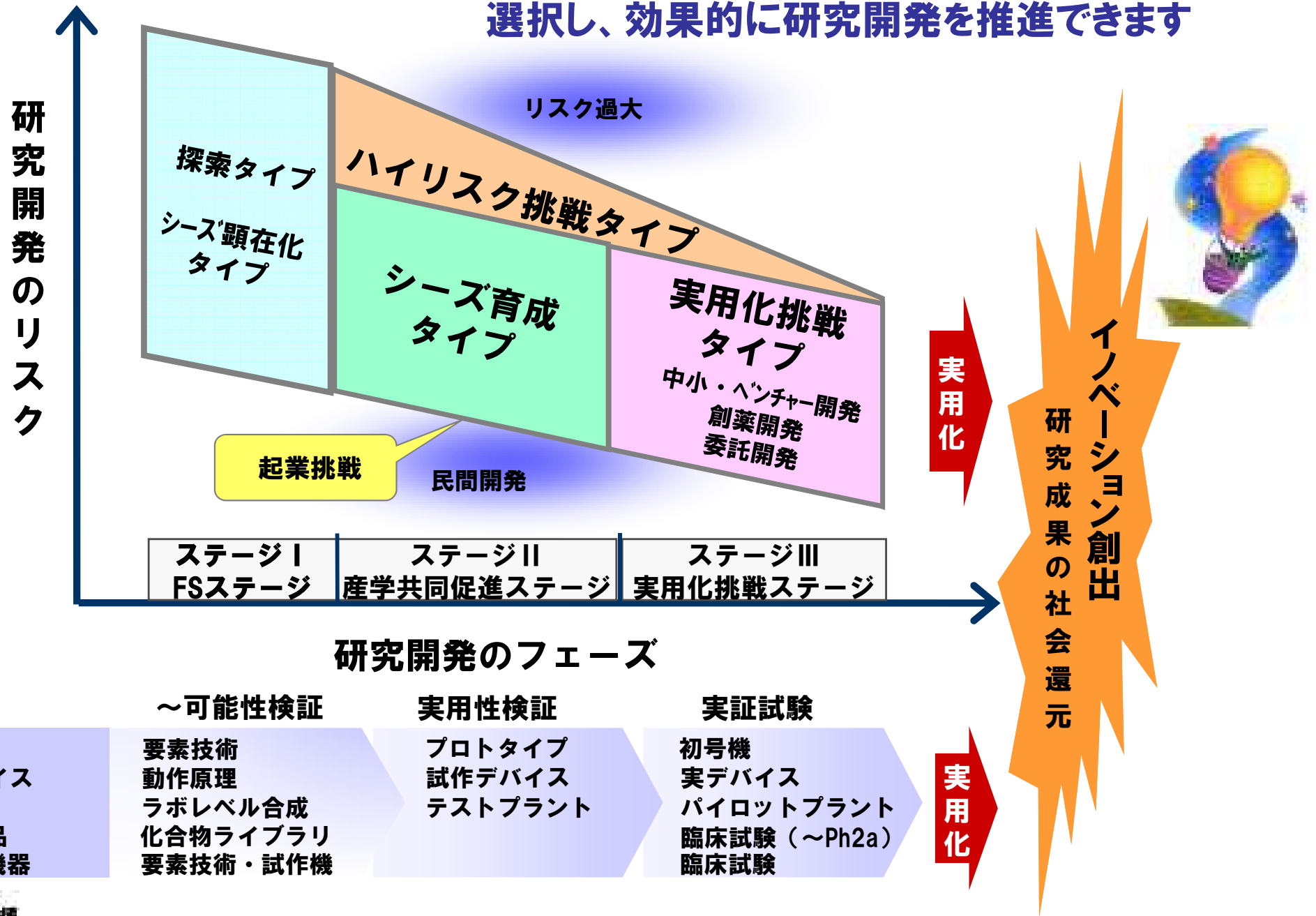
研究成果最適展開支援プログラムA-STEPのスキーム



※起業挑戦タイプ応募課題うち、起業挑戦タイプの採択のレベルには達しないものの一定の評価が得られた応募課題に関しては、起業挑戦タイプ(検証試験)として採択することがあります

支援タイプの対応図

研究開発フェーズとリスクに応じた支援タイプを選択し、効果的に研究開発を推進できます



公募対象:

起業挑戦ステージ

- 起業挑戦タイプ、起業挑戦タイプ(若手起業育成)

産学共同促進ステージ(ステージII)

- ハイリスク挑戦タイプ、シーズ育成タイプ

実用化挑戦ステージ(ステージIII)

- 実用化挑戦タイプ(中小・ベンチャー開発、創薬開発)

採択予定課題数:

起業挑戦ステージ:2課題程度

産学共同促進ステージ(ステージII):50課題程度

実用化挑戦ステージ(ステージIII):5課題程度

※ただし、課題の規模等により変動する可能性があります

公募・選考スケジュール:

6月11日(火)

7月31日(水)正午

8月~11月頃

12月~1月頃

募集開始

募集〆切

評価委員会による選考

契約締結後研究開発開始(予定)

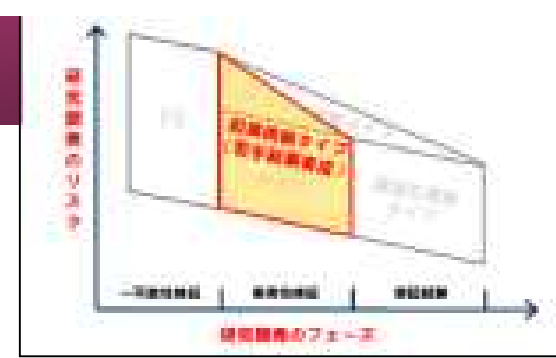
A-STEP 支援タイプ表

ステージ		ステージⅠ フィージビリティ スタディ(FS)		起業挑戦		ステージⅡ 産学共同促進		ステージⅢ 実用化挑戦		
支援タイプ		探索	シーズ顕在化	起業挑戦		ハイリスク 挑戦 ※	シーズ育成	実用化挑戦		
サブタイプ				若手起業 育成	研究者 起業家 起業支援機 関			研究者 起業 企業	研究者 企業	中小・ベン チャー開発
申請者の要件 (共同申請)		研究者 コーディネータ等 企業の研究開 発関係者の協 力がある場合は 研究者	研究者 企業	研究者 起業家 起業支援機 関	研究者 起業 企業	研究者 企業	研究者 企業	企業 (研究者)	企業 (研究者)	企業 (研究者)
研究 開発 規模	基準額 (上限額) 間接経費込	基準額 170万円 (~300 万円)	基準額 800万円 (~1000 万円)	1億5000 万円 (総額)	4500万円 (総額)	JST支出総額 6000万円	JST支出総額 2億円	3億円 (総額)	10億円 (総額)	20億円 (総額)
	開発期間 (最長)	原則1年度	原則1年間	最長3年間		最長3年間	最長4年間	最長5年間	最長5年間	最長7年間
開発費の性格		グラント	グラント	グラント		マッチング ファンド	マッチング ファンド	売上げに応じて 実施料を納付		成功:開発費10年 年賦返済 不成功:90%返済 免除 売上げに応じて実 施料を納付

※別途、ハイリスク挑戦タイプ(復興促進型)の公募を行います。詳しくは、下記URLをご覧ください。

<http://www.jst.go.jp/fukkou/about/matching25.html>

起業挑戦



起業挑戦タイプ

研究開発フェーズ・主旨

大学等の研究成果に基づくベンチャー企業設立の研究開発を支援
成長力を有するベンチャー企業の設立を目指す

研究開発資金(原則)

上限総額1億5,000万円(間接経費を含む)
別途、起業支援経費として総額1,500万円(一般管理費を含む)

研究開発期間(原則)

最長3年

応募の要件

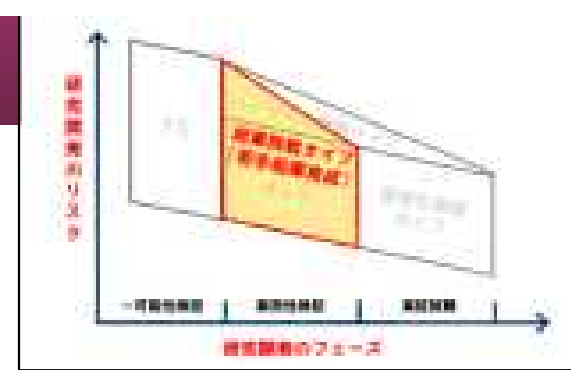
研究責任者(大学等の研究者)・起業家・起業支援機関※の共同申請
大学等の研究成果に基づくシーズ(特許等)が存在し、実施について権利者による同意が得られていること

備考

審査の結果、起業挑戦タイプ(検証試験)として採択することがあります。

※起業支援機関とは、日本国内に法人格を有する機関であり、マーケティング支援等、起業に向けた支援を実施する機関

起業挑戦



起業挑戦タイプ（若手起業育成）

Ⅰ 研究開発フェーズ・主旨

起業意欲のある若手研究者が起業家となるために必要な支援を行い、自らの研究成果の実用化を目指した研究開発を促進

若手研究者（起業研究員）の起業家へのキャリアパス形成を促進する

Ⅰ 研究開発資金（原則）

上限総額4,500万円※（間接経費を含む）

別途、起業支援経費として総額300万円まで（一般管理費を含む）

Ⅰ 研究開発期間（原則）

最長3年

Ⅰ 応募の要件

起業研究員**・起業研究員の所属する大学等の起業支援機関との共同申請

- ・大学等の研究成果に基づくシーズ（特許等）が存在し、実施について権利者による同意が得られていること
- ・創薬など起業するまでに相当の年数と資金を要する分野については対象外とします。

Ⅰ 備考

審査の結果、起業挑戦タイプ(検証試験)として採択することがあります。

※起業研究員の人件費(450万円/年)を含む。

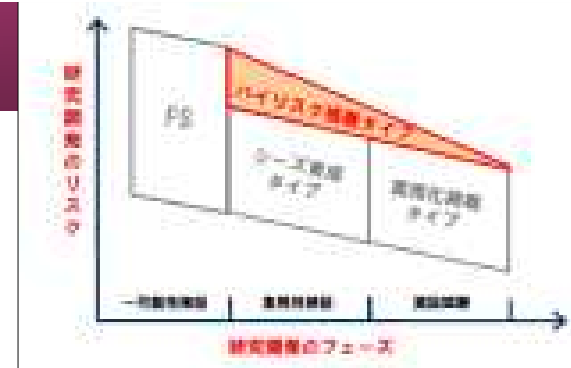
※※博士号取得者、博士課程満期退学者あるいは博士課程後期在学中の学生

・大学等に任期付きで雇用されている期間の合計が10年以下

・応募の時点で「任期の定めのない職」に就いていないこと

ステージⅡ 産学共同促進

ハイリスク挑戦タイプ



研究開発フェーズ・主旨

大学等の研究成果に基づく顕在化したシーズの
実用性検証から実証試験までの研究開発フェーズを対象とし、
研究開発リスクがより高い研究開発を支援

研究開発資金（原則）

【マッチングファンド形式】

JST支出は上限総額6,000万円（間接経費を含む）
但し、企業側負担を求める（負担比率は以下の通り）

研究費負担比率（JST:企業）

研究開発期間（原則）

最長3年

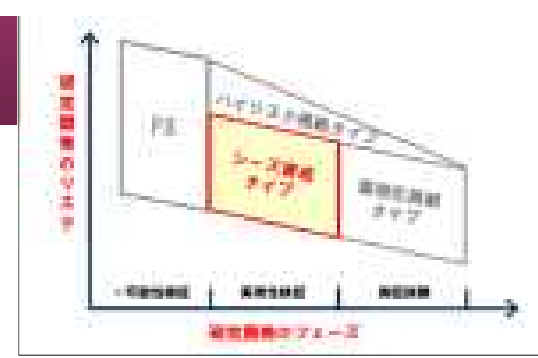
資本金10億円超の企業	3:1
資本金10億円以下の企業	6:1

応募の要件

企業責任者（研究開発実施企業）と研究責任者（大学等の研究者）の共同申請。企業責任者が研究開発代表者となる

大学等の研究成果に基づくシーズ（特許等）が存在し、
実施について権利者による同意が得られていること

ステージⅡ 産学共同促進



シーズ育成タイプ

研究開発フェーズ・主旨

大学等の研究成果に基づく顕在化したシーズの実用性検証のため、
産学共同での本格的な研究開発を支援
イノベーション創出に向けた鍵となる中核技術の構築を目指す

研究開発資金(原則)

【マッチングファンド形式】

JST支出は上限総額2億円(間接経費を含む)

但し、企業側負担を求める(負担比率は以下の通り)

研究費負担比率(JST:企業)

研究開発期間(原則)

最長4年

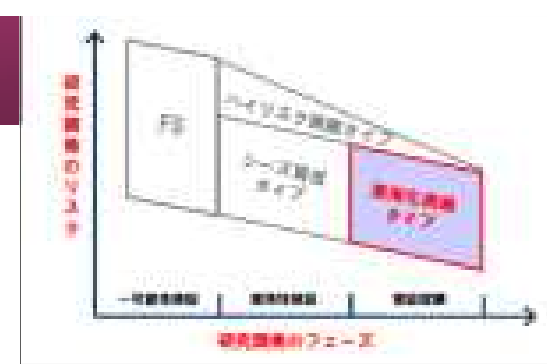
資本金10億円超の企業	1:1
資本金10億円以下の企業	2:1

応募の要件

企業責任者(研究開発実施企業)と研究責任者(大学等の研究者)の共同申請。企業責任者が研究開発代表者となる。
大学等の研究成果に基づくシーズ(特許等)が存在し、実施について権利者による同意が得られていること

ステージⅢ 実用化挑戦

実用化挑戦タイプ（中小・ベンチャー開発）



Ⅰ 研究開発フェーズ・主旨

大学等の研究成果に基づく実用性が検証されている

シーズのうち、研究開発型中小・ベンチャー企業の実用化開発を支援

企業化の難しい技術開発に挑戦し、イノベーションの創出への寄与を期待

Ⅱ 開発資金（原則）

上限総額 3 億円程度（間接経費を含む）

Ⅲ 開発期間（原則）

最長 5 年

Ⅳ 応募の要件

開発実施企業がシーズの所有者（大学等の研究者等）の了承を得て申請。

開発企業からプロジェクトリーダーを選出

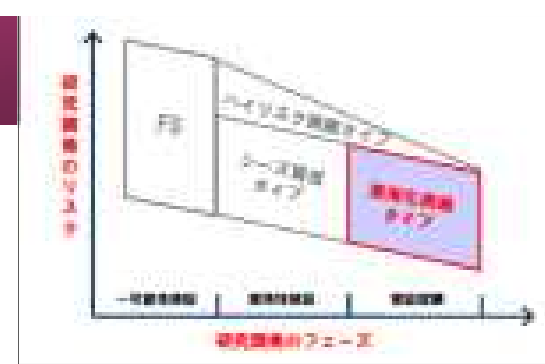
- ・ 資本金 10 億円以下の企業であること
- ・ 新技術に係る特許が出願されていること
- ・ 開発実施できる技術的、経営的基盤を有していること

Ⅴ 備考

- ・ 成果実施に際して実施料を納付

（JST分：売上高の 5%、シーズの所有者分：申請者の意向を踏まえて決定）

- ・ 上限総額・期間を超えて申請を希望される場合は、申請後、JSTから依頼する所定の様式（理由書）に、その理由について記載の上、提出いただきます。



実用化挑戦タイプ（創薬開発）

Ⅰ 研究開発フェーズ・主旨

大学等の研究成果に基づく実用性が検証されているシーズのうち、創薬研究開発型企業の革新的な医薬品の実用化開発を支援
臨床試験フェーズⅡa相当の完了を目指す

Ⅰ 開発資金（原則）

上限総額10億円程度（間接経費を含む）

Ⅰ 開発期間（原則）

最長5年

Ⅰ 応募の要件

開発実施企業がシーズの所有者（大学等の研究者等）の了承を得て申請。

開発実施企業からプロジェクトリーダーを選出

- ・原則、開発候補品目が数個に特定されたステージにあること
- ・2年以内に開発品目が選択され、GLP試験、GMP製造に入りうること
- ・資本金300億円以下の企業であること
- ・新技術に係る特許が出願されていること
- ・開発実施できる技術的、経営的基盤を有していること

Ⅰ 備考

- ・成果実施に際して実施料を納付
（JST分：売上高の5%、シーズの所有者分：申請者の意向を踏まえて決定）
- ・上限総額・期間を超えて申請を希望される場合は、申請後、JSTから依頼する所定の様式（理由書）に、その理由について記載の上、提出いただきます。

審査の観点

- ① 課題の独創性（新規性）及び優位性
- ② 目標設定の妥当性
- ③ イノベーション創出の可能性
(COI STREAMのビジョン実現への貢献については、本項目で審査します)
- ④ 提案内容の実行可能性
- ⑤ 事業化の可能性
- ⑥ 開発に伴うリスク
- ⑦ 直近のプロジェクトにおける目標の達成状況

選考方法は書類審査と面接審査になります。

研究開発費

①直接経費

a. 物品費（設備備品費）

設備・物品等の購入、製造、又は据付等

b. 物品費（消耗品費）

原材料、消耗品、消耗器材、薬品類等

c. 旅費

試料収集、各種調査、研究開発の打合せ、成果発表等に伴う移動や宿泊

d. 人件費・謝金

大学等における研究開発に従事するポスドクおよび研究補助員の従事率に応じた雇用等に要する人
員費開発等を実施するために必要であり、臨時的に発生する役務の提供などの協力を得た人への謝礼

e. その他（外注費）

データ分析等の請負業務を仕様書に基づいて、第三者に業務を実施させる（外注する）際の経費

g. その他（その他経費）

当該研究開発を遂行するための経費で他の費目に該当しない経費、
かつ、個別把握可能な経費（印刷費、調査費、施設及び設備賃借料等）

②再委託費

研究開発課題の一部を第三者（例：発明者等が所属する機関等）に業務委託するために必要な経費
（JSTの承認が必要）

③間接経費

研究環境の改善や機能向上のための経費で、①直接経費の30%を上限

申請方法

◎府省共通研究開発管理システム(e-Rad)による応募

<http://www.e-rad.go.jp/>

◎申請に先立ち、**研究開発機関の登録が必要**です。

登録手続きは日数を要する場合がありますので、2週間以上の余裕を持って登録手続きを行って下さい。一度登録が完了すれば、他制度での応募の際再度登録する必要はありません。また、他制度で既に登録済みの場合、再度登録する必要はありません。

なお、e-Rad研究開発機関登録済みでも**ログインできない**方が見受けられました。e-Radへ再度ログインするための手続きも日数を要する場合がありますので、研究開発機関登録済みであっても、e-Radへログインできるか、予めご確認ください。

◎申請書類(様式)の入手方法

JSTホームページからダウンロードできます。

<http://www.jst.go.jp/a-step/koubo/index.html>

◎A-STEP用e-Rad申請マニュアル

公募要領内の申請マニュアルを参考に申請ください。

◎応募時の押印の必要性

実用化挑戦タイプ以外は申請時の捺印が不要です。

採択実績

○申請件数・採択件数と倍率

平成24年度第1回公募（平成24年2月21日～4月5日）

タイプ名	起業挑戦タイプ		ハイリスク 挑戦タイプ	シーズ育成 タイプ	実用化挑戦タイプ		
		若手起業 育成			中小ベン チャー開発	創薬開発	委託開発
申請件数	34	10	119	36	50	10	1
採択件数	3	0	33	13	5	1	0
倍率	11.3	—	3.6	2.8	10.0	10.0	—

平成24年度第2回公募
（平成24年6月1日～7月31日）

タイプ名	探索タイプ	シーズ顕在化タイプ
申請件数	3,634	742
採択件数	1,123	124
倍率	3.2	5.9

平成24年度第3回公募
（平成24年7月17日～9月28日）

実用化挑戦タイプ
委託開発
17
1
17.0

ご静聴ありがとうございます。

お問い合わせ先：

独立行政法人 科学技術振興機構 A-STEP募集窓口

URL：<http://www.jst.go.jp/a-step/>

【ハイリスク挑戦タイプ、シーズ育成タイプ、起業挑戦タイプ】

e-mail：a-step@jst.go.jp

Tel:03-5214-8994

Fax:03-5214-8999

【実用化挑戦タイプ(中小・ベンチャー開発、創薬開発)】

e-mail：a-chousen@jst.go.jp

Tel:03-6380-8140

Fax:03-5214-0017